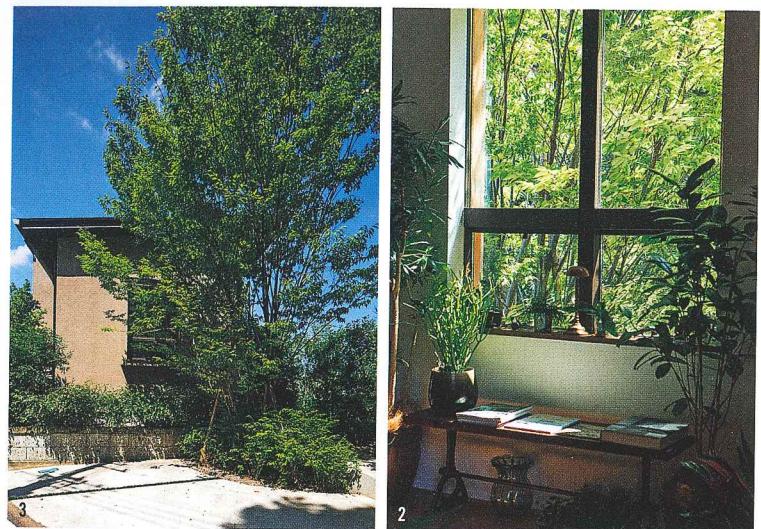


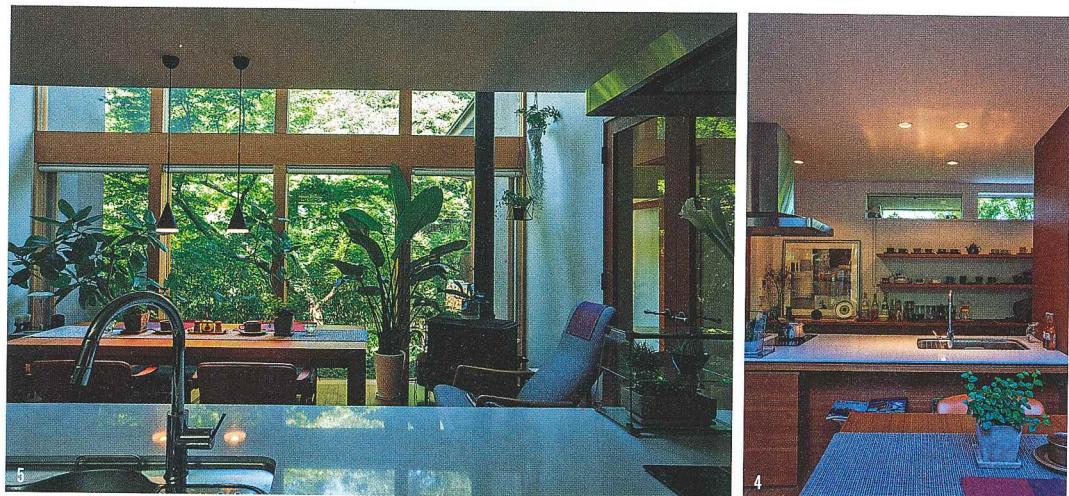
緑とヴィンテージ家具の家

14
NO

茨城・つくば市 Sさんの家 家族構成／本人50歳 母73歳 設計/G.A設計事務所



1. アイアンの縦ラインが美しい手すりが、リビングと2階をつなぐ。壁に造り付けた書棚は、ベンチソファに座ったとき頭より少し上にきて、こもったような感覚が生まれるように高さを調整した。「ル・コルビュジエの事務所で使われていたGRASの照明（階段右の壁）も手に入れました。ここに座つたり寝転がって過ごすことが多い。ペンダント照明はスペインのもの。2. 窓からケヤキの緑が目にいっぱいに飛び込んでくる。窓辺にはインドの民芸品が飾られている。3. ケヤキが印象的な外観



4. キッチンには、柱目のチーク材を使用。「織細なインテリアに合うものをと考えました」。飾り棚にはアラビアなどのカップ&ソーサーが、2客ずつセットで飾られている。5. 木枠の窓に切り取られた緑が見たいというのもSさんの要望

自分の大切なものに囲まれ
豊かな時間を過ごす

「家具とグリーンがとにかく大きき。この土地は、目の前の借景が気に入つて決めました」

そう語るSさんの家は、どの窓からも緑が見え、木深い森にすっぽり入り込んだかのようだ。ダイニングからは、庭に植えた樹齢約70年の見事なモミジも眺められる。「枝振りにひと目惚れしました」と目を細める。室内にも、インテリアとして多くの観葉植物が効果的に置かれ、「定年後の夢は自宅でグリーンのハウスショップを開くこと」という入れ込みようだ。

家具はヴィンテージを集めていて、部屋によつてインテリアのテーマを替えていく。ダイニングキッチンと書斎は北欧系でシンプルにして、「大窓のあるリビングは、好きなものを配する部屋に」。

そのリビングには印象的な半円のテーブルをはじめ、曲線の多いマホガニー系の家具がたたずむ。ヴィンテージのランプもちらほら。天井の木格子や、アイアンと木の手すりは、感銘を受けたジェフリー・バフの建築を参考に製作。

「平日は本当に忙しい。でも、休みの日に、ここで自分が集めてきた家具や絵画に囲まれて、緑のゆらぎや光を眺めていると心が洗われるまですね」

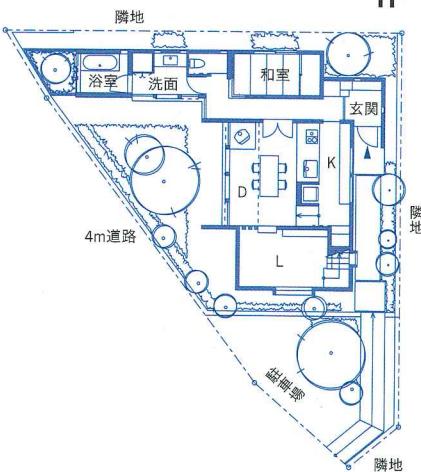


スリランカで生まれ、イギリスで建築を学んだジェフリー・バフの建築を意識したりビング。半円のテーブルはイギリスのヴィンテージで、「ミニデスクとしてついちゃうんらしい」とSさん。設計の段階からリビングに置くことを決め、プランを進めた。天井高4.3mの黄色いアンティークのスタンダランプは、雰囲気に合わせシェードだけをショップで新たにオーダー

2F



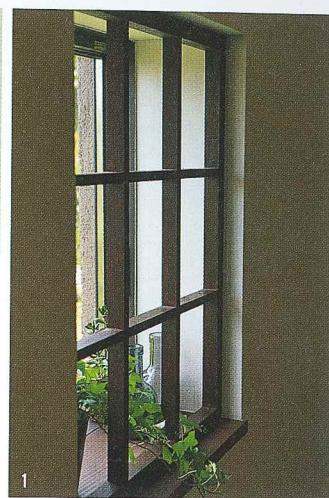
0 90 180 270



DATA

敷地面積／200.83 m²(60.86坪)
延床面積／100.28 m²(30.39坪)
1階／71.66 m²(21.72坪)
2階／28.62 m²(8.67坪)
用途地域／無指定(第1種低層住居
程度(200/60))※旧宅造地域
建ぺい率／60%
容積率／200%
構造／木造軸組工法

設計／玉木直人(GA設計事務所)
担当：服部真和
〒501-6228
岐阜県岐阜市古市場125-2
☎058・234・7499
施工／柴木材店 ☎0296・43・5595
造園／gardenworks園三
☎058・473・6648



1.「織細なデザイン」がテーマ
だった家づくり。より織細に
見せたいということで、窓に
はめた木格子の幅は、20mmか
ら15mmに変更した。2.スイッ
チはパナソニック製のすっき
りしたデザインのものを選択

インテリアづくりのポイント



1. 家のあちこちに、
グリーンをきれいにちりばめる
2. 部屋ごとに明確なテーマを決めて、
イメージに合ったインテリアを集める
3. 家中に織細なデザインを取り入れるが、
使い勝手との両立を心がける



3.2階に上ると、廊下の先にコレクションの椅子のひとつが見える。2階寝室の家具は、すべて以前から使っていたもの。4.本棚には、選び抜いた本だけを置く。ぎっしり詰めずにグリーンや北欧のグラスを、ポイントで飾る。5.壁にグリーンのクレイペイントを施した書斎。「色見本とにらめっこして、この色に決めました。想像どおりの渋みのあるグリーンに満足です」。カウンターは巾ハギのサベリ材。壁に後付けしたヴィンテージシェルフ(カイ・クリスチャンセンがデザイン)はサイズがたまたまぴったりだった